

【島根県】

一人一台端末の利活用に係る計画

1. 一人一台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

○めざす授業像

児童生徒が一人一台端末等を日常的に活用して、主体的に学習を調整することにより、情報手段を適切に学びに生かし、よりよい学び方を自ら追求する力を育成する授業

○めざす児童生徒像

一人一台端末等を活用して、

- (1) 学習に必要な情報を調べている
- (2) 考えを共有したり比べたりしている
- (3) 考えをまとめ、発表・表現している
- (4) 学習記録を活用しながら、自分のペースや学び方に合わせて学習を進めている
- (5) 情報活用の土台となる知識や態度を身に付けている

2. GIGA第1期の総括

本県では、令和3年度に全ての県立特別支援学校小学部、中学部に学習者用一人一台端末を整備するとともに、ローカルブレイクアウトによる通信環境の改善に努めてきた。

また、県立の教職員を対象にICT活用推進リーダー研修、ICT基盤担当者研修、全管理職を対象にした学校における教育の情報化に係る研修会等を実施してきた。

これらの取組の結果、授業で一人一台端末等を活用している小中学生の割合は徐々に増えているが、全国平均と比べ低い状況である（全国学力・学習状況調査より）。学習における一人一台端末等の活用について「考えを共有したり比べたりしやすい」「考えや意見を分かりやすく伝えることができる」と感じている小中学生の割合や、「自分のペースで理解しながら学習を進めることができる」と感じている中学生の割合も全国平均より低い状況である。

これらのことから、子どもたちが情報手段の一つである一人一台端末活用の特性や強みを知り、学習に生かしていくことができるよう、授業で日常的に活用していくことが求められる。

3. 一人一台端末の利活用方策

本県では、第2期学力育成推進プラン（実行期間：令和7年度～令和11年度）において、「できた・わかった・やってみたい」を実感できる授業づくりの目標として「ICTを効果的に活用した授業づくりの推進」を示している。

GIGA第2期で整備・更新した端末を活用し、1に示す(1)～(5)を日常の学習で進めることで、一人一台端末の利活用を進めていきたい。

また、それらを進める上で、県教育センター等と協力し下記の研修を実施する。

- ・クラウドの強みを生かした授業デザイン講座
 - ・授業で育み活かす！子どもの情報活用能力育成講座
 - ・AI時代の教育情報セキュリティ講座
 - ・校内の情報化を進めたい教員のためのICT活用推進実践講座
 - ・ICT活用推進リーダー研修
- 等